

各教科の指導の重点

国語科		○実社会に必要な国語の知識や技能を身につけさせる。 ○論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高めていく。 ○我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。
社会科		○現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけさせる。 ○現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論する力を養う。
数学科		○基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し数学的に表現・処理したりする技能を身につけさせる。 ○事象を論理的に考察する力や事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ○学習内容を活用しようとする態度、粘り強く考え論拠に基づいて判断しようとする力の基礎を養う。
理科		○実験室の使い方、安全面について理解する。基本的な実験操作を身につけさせる。 ○実験結果から科学的な見方をもって他人に説明する力を養う。 ○社会の中における科学の役割に興味を持たせる。
保健体育科		○自己の体力や体の特徴を理解し、自ら進んで調べる態度を育ませる。 ○体を動かすことの楽しさや喜びを味わいながら、主体的に活動に取り組む態度を養う。 ○フェアプレーを守り、仲間とともに積極的に活動に取り組む態度を育む。
芸術科	音楽	○創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ歌唱、器楽、創作などに生かす。 ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感じしながら関わりについて考え、音楽の美しさを味わったり表現意図を考察させる。 ○音や音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に積極的に取り組ませる。
	美術	○芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 ○創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。 ○学習を通して感性を高め、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
	書道	○書の表現方法や形式、多様性について幅広く理解させる。 ○主体的に書の幅広い活動に取り組み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 ○書のよさや美しさを感じ、書の美を味わい深くとらえる感性を養う。
英語科		○英語の知識を目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせる。 ○動詞の活用に関心させる。現在、過去、現在完了を使い分けられるようにさせる。 ○各国の文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力を養う。
家庭科		○基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けさせる。 ○生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けさせる。 ○協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践させる。
情報科		○情報産業と社会について体系的、系統的に理解させる。 ○情報産業と社会との関わりについて課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ○情報社会に主体的かつ共同協力的に参画し、寄与する力を養う。